

# 山本大臣閣議後会見

平成26年5月16日

# 宇宙に関する包括的日米対話 第2回会合について

# 宇宙に関する包括的日米対話 第2回会合

平成26年5月9日、ワシントンD.C.において、宇宙に関する包括的日米対話を開催し、日米間の宇宙協力について、安全保障分野や民生分野など、幅広い分野で意見交換を行った。

本会合は、昨年3月の第1回会合(於 東京)に引き続き、2回目。

## < 主要参加者等 >

日本側



共同議長

内閣府宇宙戦略室 及び  
外務省総合外交政策局の代表

参加省庁等

国家安全保障局、文部科学省、経済産業省、環境省、  
防衛省、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)

米国側



共同議長

大統領府国家安全保障会議 及び  
大統領府科学技術政策局の代表

参加省庁等

国務省、国防省、商務省、運輸省、  
連邦航空宇宙局(NASA)、  
国家情報長官室、通商代表部、地質調査所

# 宇宙に関する包括的日米対話 第2回会合

## ～ 概要 ～

両国が直面する共通の安全保障上の課題を踏まえ、日本の宇宙活動の活発化が日米双方の安全保障に不可欠な宇宙アセットの抗たん性の向上につながる日米宇宙協力の新しい時代が到来したことを確認

日米宇宙協力を**行動志向**なものにするという意図を確認

米国のGPS及び日本の準天頂衛星システム(QZSS)、宇宙状況監視(SSA)、宇宙を利用した海洋監視(MDA)等について意見交換を行った。

第3回会合を2015年前半に東京で開催することで一致

平成26年5月19日  
「総合科学技術・イノベーション会議」への  
改組について

平成26年5月19日(月)、

総合科学技術会議は

「総合科学技術・イノベーション会議」

に改組されます

# ( 会議の歴史 )

科学技術会議 (昭和34年設置)

総合科学技術会議 (平成13年1月設置、橋本行革)

自然科学だけではなく、人文科学を追加



【第112回総合科学技術会議】

総合科学技術・イノベーション会議 (平成26年5月改組)

科学技術だけではなく、「イノベーション」を追加

# 平成26年5月19日、「内閣府設置法の一部を改正する法律」が施行

所掌事務の追加(イノベーション関連事務、予算の見積方針調整等)

SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)の執行が可能に！

「総合科学技術・イノベーション会議」に改組！

略称は、CSTI(Council for Science, Technology and Innovation)

関連政令改正(5月13日閣議決定)

訓令の整備 (プログラムディレクター及び科学技術政策フェローの職の設置、革新的研究開発推進プログラム担当室の設置)



# 当面のイノベーションの取組課題

SIP、ImPACT(革新的研究開発推進プログラム)の実施  
科学技術イノベーション総合戦略の改定  
日本経済再生本部、規制改革会議等との連携強化  
イノベーションについての国民の関心喚起への取組  
事務局体制の強化(科学技術政策フェロー等)



強化した司令塔機能を発揮し、「イノベーションに  
最適な国」の構築に向けた取り組みを加速

# SIP が本格的に始動！！

## 10人の政策参与がPDに決定予定

対象課題名	PD予定		
革新的燃焼技術	杉山雅則	自動走行(自動運転)システム	渡邊浩之
次世代パワーエレクトロニクス	大森達夫	インフラ維持管理・更新・ マネジメント技術	藤野陽三
革新的構造材料	岸 輝雄	レジリエントな 防災・減災機能の強化	中島正愛
エネルギーキャリア	村木 茂	次世代農林水産業創造技術	西尾 健
次世代海洋資源調査技術	浦辺徹郎	革新的設計生産技術	佐々木直哉

今後、特徴あるプログラムについて、  
随時紹介いたします。

# 科学技術政策フェローについて

～ 大学等との連携、現場の声を政策に反映～

大学・研究機関の研究者等(若手～シニア)が内閣府で活躍します！

米国のAAASのフェロー制度のように政策立案に直接関与し、  
科学技術政策に通じ、現場で活躍する人材を育成

内閣府と研究者・技術者とのコミュニケーションの促進  
(内閣府と現場の距離を縮めることで現場と政策を連動)

内閣府で得た経験やノウハウを大学・研究機関等へ提供  
(内閣府への現場の声の反映)



【山本大臣と若手研究者との懇談(平成25年3月京都)】

新たな仕組みによる現場の政策分析能力と  
内閣府の政策立案機能を強化